

平成 19 年 5 月 30 日

参加者各位

短資協会

短資取引約定確認システム更改のご案内

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在稼働中の短資取引約定確認システムにつきましては、平成 13 年 1 月の運用開始以来、短期金融市場の重要なインフラ基盤として広くご利用頂いているところでありますが、平成 20 年末に現行システム機器の保守期限が到来することから、日本銀行の次世代 RTGS への対応も含め、この度、システムの更改を行うことといたしましたのでご案内申し上げます。

今回はシステム更改に係る概要を下記の通りご案内させていただきますが、詳細等につきましては、今後、書面並びに短資協会ホームページへの掲載など随時ご報告させていただきます予定としております。

参加者様には、今後、機器の設置、回線の申し込み等でお手数をお掛けすることとなりますが、何卒ご理解、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

記

1. システム更改時期は、日銀ネット次世代 RTGS 対応（第 1 期対応）のスケジュールに合わせ、同日の稼働を予定しております（スケジュール概要は別紙参照）。
2. 基本的には現行システムを継承することとしておりますが、次世代 RTGS への対応と参加者様の利便性向上を考え、次の項目を機能として追加いたします。
また、セキュリティ向上を図るため回線の種類を変更することとしております。

（1）追加機能

日銀ネット次世代 RTGS に「当座勘定（同時決済口）」が設けられるため、資金決済用日銀ネット口座区分に「当座勘定（同時決済口）」の入力、表示を追加する。

コール取引の際の手形発行の有無について区分を設ける。

非日銀当預先決済口座情報について

資金決済依頼先口座名称を表示する。

決済情報表示項目を分離し同項目入力文字数を拡大する。

将来制度変更などが生じた場合の対応に備え予備欄を 2 項目設ける。

(2) 回線種類の変更

現行システムで利用している INS 回線は、将来的にサービスの縮小・廃止も考えられており、一層のセキュリティ向上を図るため、INS 回線に変えて IP-VPN 回線^注を採用します（これにより現行に比べ回線費用がやや増加します。）

専用回線については、従来どおりご選択いただけるようにします。

^注 IP-VPN IP ベースの網型ネットワークサービス。専用回線と同等のセキュリティが確保される。

- 3 . システム更改に伴い発生する費用負担のあり方につきましては、現行システム開発時と同様、初期開発費用は短資各社で負担いたします。また、その他費用につきましても、原則として現行の負担方式を踏襲したいと考えておりますので、よろしくお含みおき下さいますようお願い申し上げます。

本件に関するご照会等は下記までお願いします。

短資協会 短資取引約定確認システム管理本部 TEL : 03 - 3517 - 2555

以 上

次期短資取引約定確認システム 参加者様マスタスケジュール

平成19年5月30日
短資協会

